



発令式での宣言  
4月1日

**歓迎 新採用者**  
小426人、中133人、高44人  
幼稚園10人、養護教諭54人  
栄養教諭10人、事務職員16人

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法門坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/  
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



第19回ママ友会議  
を3月21日に行いま  
した。今回は、子ど  
も4人を含む19人の  
参加でした。最初  
に、つまみ細工をし、  
かわいい髪飾りが出  
来上がりました。

## 復帰前参加よかった

第19回ママ友会議

次に、勤務労働条件に関するミニ学習会をしました。①主務教諭選考で、育休取得者への不利益が無くなるようになりました(前4年度までの評価をみならず)、②子

も4人を含む19人の参加でした。最初に、つまみ細工をし、かわいい髪飾りが出来上がりました。次に、勤務労働条件に関するミニ学習会をしました。①主務教諭選考で、育休取得者への不利益が無くなるようになりました(前4年度までの評価をみならず)、②子



## 維新の教育破壊 青年教職員が告発

10年目で、維新政治の教育現場しか知りません。司会の方が「維新政治で何か良いことが一つでもあったか」と言われましたが「ありません」。しんどいです。10年間で

出してくるのは、「数値」、「評価」、「学力」。実際に増えたのはアンケートとテスト。テストのサイクルが出来て、たくさんたくさん、テストだらけの毎日になっています。アンケートも増えました。保護者に対するアンケートが年間何回もあって、児童アンケート、教員のアンケートも増えて、「アンケート」、「アンケート」、「アンケート」、「数値」、「数値」、「数値」、データの処理だけでものすごく大変なんです。それだけで書類の山です。パソコンにデータを打ったり、そんな仕事をしていたら一日が過ぎて7時とか、8時なんです。最近

研修も増えました。初任者研修、2年次研修、5年次、10年次、私は増えた研修を全部やってきている。研修に行く前に計画書、行って報告書、最終的に全体報告書を書く。とにかく作業量が多い。子どもと向き合う時間が全くなくて、ひたすら書類を作成しているという状態。本当に悲しいと思います。子どものために放課後は教材を研究したり、クラスをこうしようと考えていることなく、書類づくりで終わってしまう毎日です。維新がやってきたことが降りて来ていると思います。

私たちが若手教員は、反論する力もなく言われるがままに、こなすことに必死になってしまっ

保護者からのアンケート、やればやるほど圧迫感を感じます。アンケートを開封するのが苦痛です。嫌なんです。集計して、こんな一時期のものやと分かっている、すごく落ち込むんです。アンケートを取るたびに悲しくなります。どんどん自分を追いつ込んでしまいます。みんながしんどい。若手もベテランも、もっと言えば管理職も保護者も、「数値」、「評価」、「学力」に踊らされてしんどい毎日を過ごしていると思います。だから大阪から先生がいなくなっていると思います。

私10年間やっているんですけども、その中で5人精神疾患で病欠となりました。他にも何かうまいこと理由があれば、他府県に逃げる。一緒に始めたはずなのにいないのです。それだけでもつらいと思います。

今の働き方という、2年生の主任をやっている、研修部長を兼任していて、10年目なので教員免許更新制があり、中堅研修にもあたり、研究授業も自分が担当し、研修に10回くらい出て、自習体制を作り、誰かに頼まないといけないし、主任なので会議もフルで参加、一週間で会議が無い日はほぼないです。会議があって、5時から書類を作成して、7時ぐらいから明日の準備をして8時に帰ることになります。7時代に帰れば、万々歳。自分の仕事だけでそうなのですが、2年の主任なので、保護者対応の大変なクラス、一緒にしなければならぬ。2月に産休に入り、講師なんか来るはずない。1か月後、奇跡的に見つかって、しかし、経験のない人。放課後になったら1日どうだったか話を聞き、明日の計画を立て。保護者対応があれば一緒にやり。仕事が残ります。明日(日曜日)も学校にいきます。所見もできていないし、研究紀要もできていないし。学級崩壊は一つではなく、病欠の先生もいます。担任外ゼロです。教頭先生も校長先生も授業等で誰にも頼りません。それなのに現場の責任にするのはどうかと思います。忙しすぎてみんながどうしようもない状態だと思います。

私の後輩が保護者対応に疲れ、病欠に入っていました。本当に悲しいです。若手はいま生きること精一杯で、自分がやらないといけないことに精一杯で、自分の身を守ることに精一杯だと思います。どうかみなさん話を聞いてもらって、若い人たちが元気で頑張れるように、応援してもらえたらと思います。

学習会「維新政治の教育・民主主義破壊の実態」が3月9日に開かれ60人が参加し、明るい民主大

阪府政をつくる会の中村正男さんが講演、青年が実態を告発しました(別項参照)。主催は大阪市

退職教職員の会。大阪市の宮城委員長は、「子どもの尊厳を否定する維新に、教育を語る資格

はない。選挙の年に、維新政治に終止符を」と題して報告。共感が広がった青年の報告は、「数値」、

「評価」、「学力」に追い詰められる子どもたち、保護者、青年教職員の実態を明らかにしました。



再稼働はんたい！お  
おさか大集会201  
9」が3月10日開か  
れ500人が参加  
し、集会后パレード

## 再生可能エネルギーを なくせ原発

なくせ！原発

安全な暮らしを実現するには原発をなくすしかない」と原発ゼロの会が報告しました。

が行われました。

日本環境学会元会長で自然エネルギー市民の会代表の和田武・和歌山大客員教授が、国内外で進む脱原発・再生可能エネルギー普及の取り組みについて講演しました。

安全な暮らしを実現するには原発をなくすしかない」と原発ゼロの会が報告しました。

## 仲間が増えた！

### 市外から「大阪市教に入りたい」講師組合員、再任用の加入続々

人事異動とともに、うれしい拡大が続いています。「A小学校に赴任が決まりました。大阪市教に入りたいです。」と、新採用の方から電話がありました。市外の講師経験の中で全教を信頼し、加入を決めていたそうです。また新採用となった講師組合員の方や再任用の方からも、引き続きの加入を確認しています。あなたの職場に来られた新採用や転入の方にも、ぜひ取り組みのピラや加入書などを手渡してください。育休や病休明けで復帰された方にも組合の存在を知らせ、相談に乗れることを知らせてください。困っている人、悩んでいる人は必ずいます。声をかけ、あなたの職場で組合員をまず一人、増やしましょう！

## 勤務時間の上限規制

### 給特法廃止教職員増を

市教委は3月、「教育職員における時間外勤務の上限規制の導入について」を提案しました。

①本市の上限時間に合わせ、原則、月45時間以下、年間360時間以下とする。

②災害対応その他重要性・緊急性が高い業務に従事するため、時間外労働をおこなう場合は上記の時間とは別に計上することができるものとする。

③教育職員については、校長からの命令を受け、超勤4項目に該当する業務に従事した場合のみ計上することとする。(4項目とは、生徒の実

習に関する・学校行事に関する・職員会議に関する・非常災害時のやむを得ない業務)

市教協は、教育職員には「原則として時間外勤務を命じない」「命じる場合は限定4項目で、臨時又は緊急のやむを得ない必要がある時に限る」「命じることのできる限定4項目については、その上限は概ね8時間」というのが給特法(政令、条例を含む)の趣旨であることを指摘しました。

市教委は、認識はこれまでも何ら変わるものではなく、給特法や関連する政令

の制定の経過等を十分踏まえ、今後とも慎重に対応、と答えました。文科省ガイドラインは、「超勤4項目」以外の「在校等時間」を問題としており、引き続きの協議となります。過労死ラインの長時間勤務を解消するためには、給特法を廃止し残業代を払うこと、教職員定数の抜本増が必要です。

大阪メーデー  
5月1日  
総がかり憲法集会  
5月3日  
両日1時30分扇町公園

教え子を再び戦場に送るな！